

## 「ことば」ってなんだろう？

平成13年5月12日（土） 午後2時～4時

国立国語研究所・講堂

### 【スケジュール】（司会：吉岡泰夫）

- |           |                                    |
|-----------|------------------------------------|
| 2：00～2：10 | 所長あいさつ（甲斐睦朗），進行説明                  |
| 2：10～3：15 | 「ことば」ってなんだろう？<br>（井上 優，三井はるみ，植木正裕） |
| 3：15～3：35 | 休憩，質問票回収<br>（質問票回収は3：25まで）         |
| 3：35～4：00 | 質疑応答（司会：吉岡泰夫）                      |

### 【概要】

今日は、「ことば入門」ということで、「ことば」ってなんだろう？という少し抽象的なテーマをたててみました。

「ことばとは何か？」というのは答えるのが難しい問いですが、私たちが日常生活のいろいろな局面で感じる、ことばに関する素朴な疑問の多くは、「ことばとは何か？」という問いと深いところで結びついています。今回のフォーラムでは、ことばに関する素朴な疑問を題材にしながら、「ことばとは何か？」という問いについて、みなさんといっしょに考えていきます。

「ことば」にはいろいろな側面があります。そして、どのような側面から「ことば」を見つめるかで、見えてくるものも大きく違ってきます。フォーラムでは、

- 1) 「ことば」は、一つのシステムである。
- 2) 「ことば」は、コミュニケーションの道具である。
- 3) 「ことば」は、使い手一人一人の中にある「内なる文化」の一つである。

という三つの観点から見えてくることについて、「音声認識ソフト」による実験や「言語地図」なども見ながら、具体的に見ていきます。

「ことば」について何か疑問を感じたときは、答えを求めることと同時に、その疑問が「ことば」のどのような側面と関係するのか？を考えることが大切です。今回のフォーラムを通じて、そのことを少しでも感じていただければ幸いです。

「ことば」ってなんだろう？」

## アウトライン

### 1. はじめに

なぜ今「ことばって何だろう？」なのか？

→「ことば」というものはどういうもので、私たちはその「ことば」とどのようにつきあえばよいのか？を考えたい。

「ことばとは何か？」という問いは、日常生活とは直接関係ないのでは？

→私たちが日常生活のいろんな局面で感じる「ことば」に関する素朴な疑問の中には、「ことばとは何か？」という問いと深いところで結びつくものが少なくない。

### 2. 「ことば」は一つのシステム

Q: 私たちは日本語が話せるのに、どうして「国語」の勉強をやらないといけないのか？

↓

そもそも「日本語ができる」とは？

「ことば」の第一の側面：「ことば」は一定のしくみを持ったシステム。

1) 重要な違いとそうでない違いの区別ができる。

2) 構造が分かる。

[コンピュータを使った実験]

「ことばのしくみ」は、子供の時に無意識のうちに自然と身につけたもの。

↓

しかし、それが「ことば」のすべてではない。

↓

「ことば」には、「無意識のうちに自然と身につけられる」部分のほかに、「訓練や勉強によってはじめて身につく」部分がある。（日常生活の中でもいろいろなことを勉強している。）

### 3. 「ことば」はコミュニケーションの道具

[ちょっと一息。クイズ。]

「ことば」の第二の側面：「ことば」はコミュニケーションの道具。

人と関係を結ぶための道具なら、「楽しくて粹な」道具の方がいい。

#### 4. ことばの「違い」

Q：最近の若者のことばは、何を言っているのかさっぱりわからない。

若者ことばは「まったく違うことば」？

↓

若者ことばは、もともとあるやり方を応用した「ことば遊び」。

ゲームセンター → ゲーセン      超 ベリーグッド → チョベリグ  
東京大学      →      東大      文部科学省      → 文科省

「ことば」はコミュニケーションの道具

→若者ことばはよくわからない（まるっきり違うことばだ）。

「ことば」は一つのシステム

→若者ことばも、「しくみ」そのものは大した違いはない。

「ことば遊び」として片付けることができない変化もある。例、「ラ抜きことば」

[「ラ抜きことば」の解説と言語地図の紹介]

#### 5. 「ことば」は「ウチなる文化」

理屈でわかってても、自分の言語感覚と違うことばに関する違和感はなくなる。

・犬にえさをあげる。／植木に水をあげる。

「ことば」の第三の側面：「ことば」は使い手一人一人の中にある「ウチなる文化」。

・王子 おうじ（←わうじ），大きい おおきい（←おほきい）

「ことば」は一つのシステム

→「ラ抜きことば」を否定することは不自然。

「ことば」は「ウチなる文化」

→「ラ抜きことば」を全面的に肯定することも不自然。

「文法」の勉強：「ことば」を客観的に見つめる目を育てる上で重要。

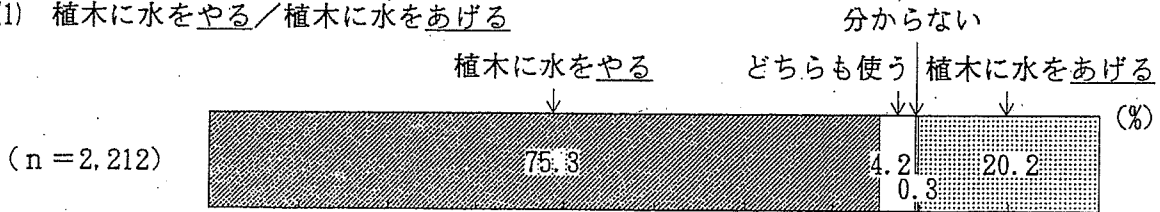
#### 6. 一番言いたいこと

「ことば」に関する疑問は、単に「答え」を求めるだけでなく、その疑問が「ことば」のどのような側面と関係しているのか？もいっしょに考えることが大切。

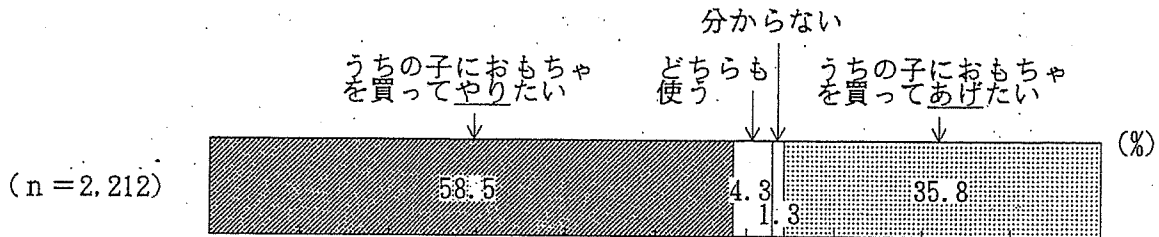
10. 二つの言い方(「やる/あげる」と「ら抜き言葉」)

Q10 [回答票] (1)~(6)それぞれに挙げた二つの言い方のうち、あなたがふつう使うものはどちらですか。

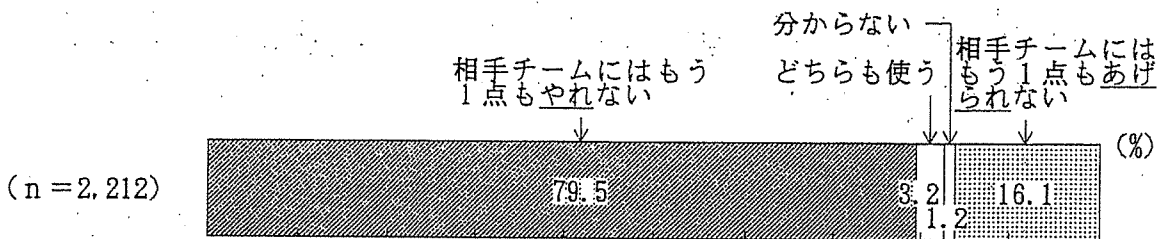
(1) 植木に水をやる/植木に水をあげる



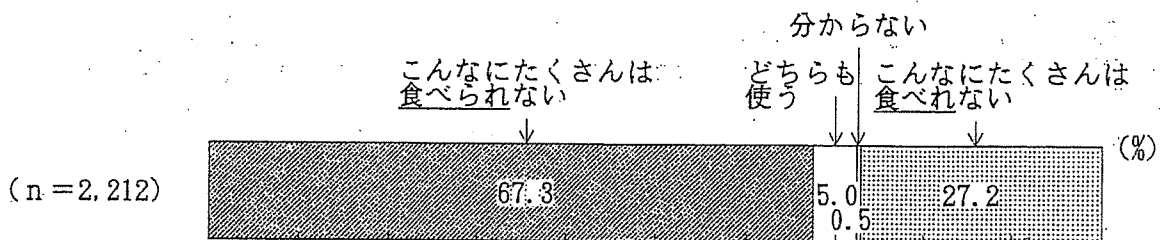
(2) うちの子におもちゃを買ってやりたい/うちの子におもちゃを買ってあげたい



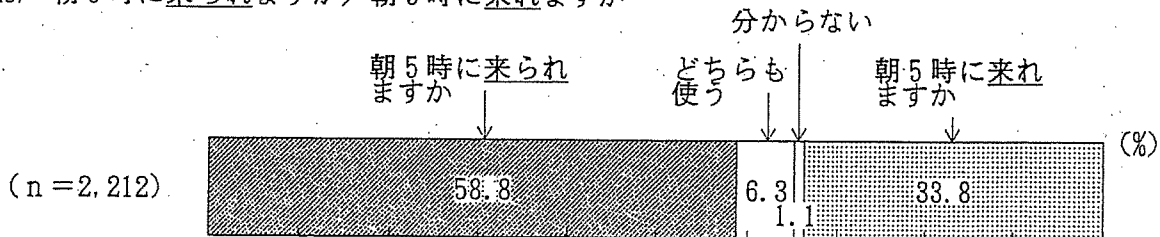
(3) 相手チームにはもう1点もやれない/相手チームにはもう1点もあげられない



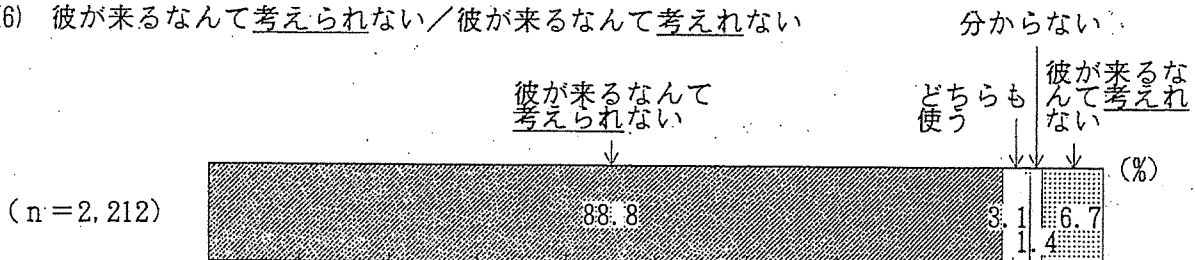
(4) こんなにたくさんは食べられない/こんなにたくさんは食べれない



(5) 朝5時に来られますか/朝5時に来れますか



(6) 彼が来るなんて考えられない/彼が来るなんて考えれない





- キルル
  - キルール
  - ◌ キエル
  - ◌ キラレル
  - ◌ キラエル
  - ◌ キラルル
  - ◌ キサレル
  - ◌ キヤリル
  - ◌ キヤリルン
  - ◌ キサリル
  - ◌ キレルル
  - ◌ キルーヨレル
- 
- ⦿ キラル
  - ✱ キササル
  - ✱ キラサル
  - キルコトガナル
  - ∩ キーガナル
  - ∪ キルニイー
  - ∩ ヨーキラレル
  - ∩ キユル
  - ∩ キル
  - \* その他
  - ∩ 無回答

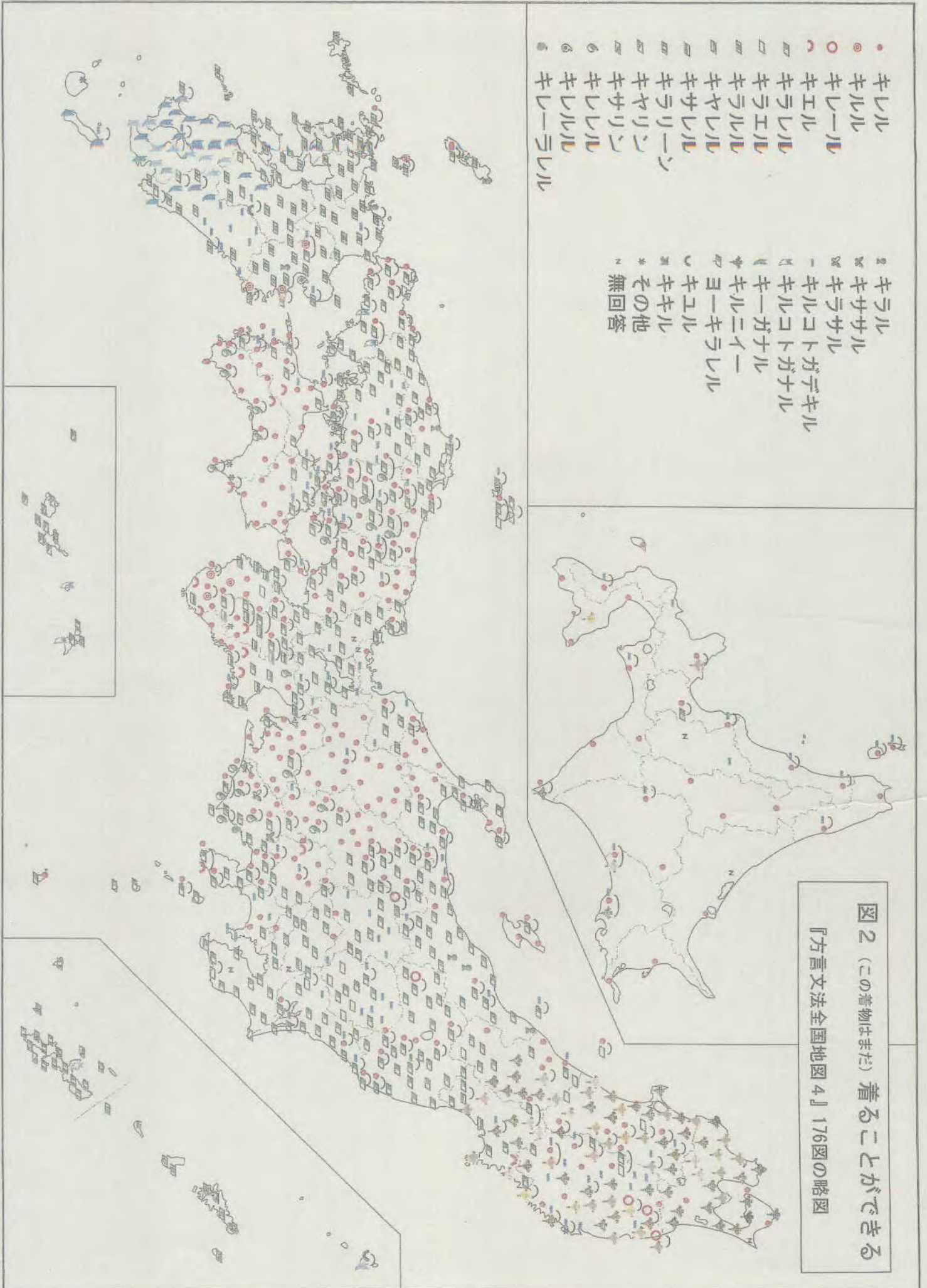


図 2 (この着物はまだ) 着ることができる  
『方言文法全国地図 4』 176図の略図